

硬化肉盛溶接用フラックス入りワイヤ
Flux-Cored Wire for Hardfacing

PREMIARC™

DW-H シリーズ 炭酸ガスアーク溶接用



**硬化肉盛溶接を
経済的に**

1.2mm, 1.6mm

**PREMIARC™
DW-H250**

**PREMIARC™
DW-H600**

**PREMIARC™
DW-H350**

**PREMIARC™
DW-H700**

**PREMIARC™
DW-H450**

**PREMIARC™
DW-H800**

フラックス入りワイヤ“DW-Hワイヤ(低合金シリーズ)”は、硬化肉盛溶接用ワイヤです。お手持ちの炭酸ガスアーク溶接機をそのまま使用でき、硬化肉盛溶接を高能率にしかも経済的にこなうことができます。

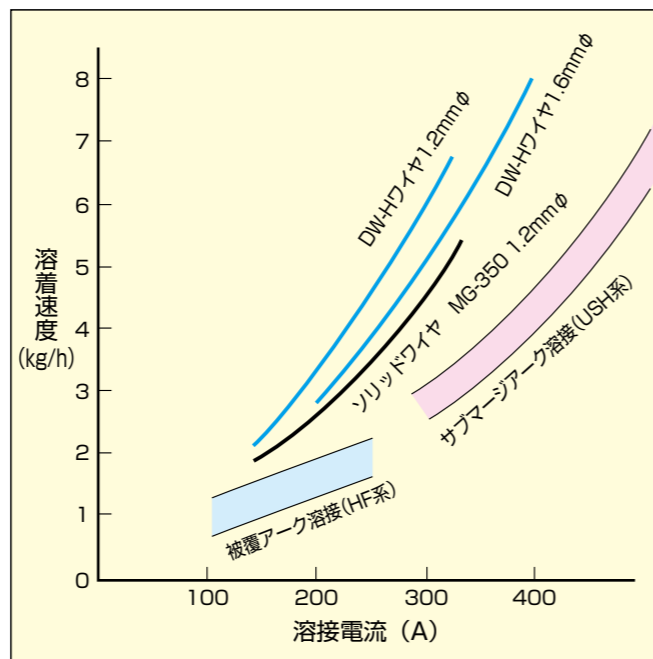
貴社の省力化、コストダウンなど経営合理化にお役立てください。

1.作業時間を大幅に短縮

被覆アーク棒にくらべ

溶着速度は**3倍以上**

溶着効率は**約90%**
(被覆アーク棒55%)

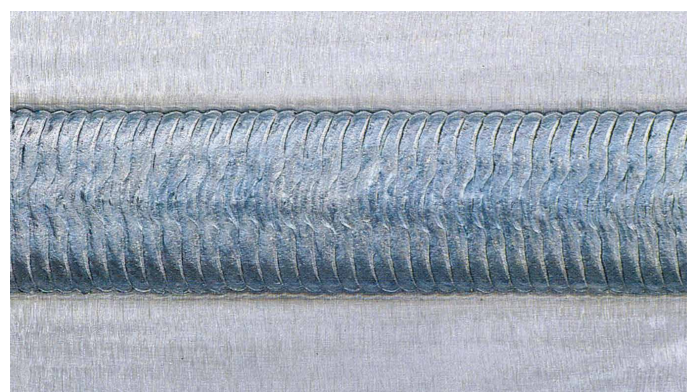


DW-Hワイヤの溶着速度は、被覆アーク棒の3倍以上となり、作業時間を大幅に短縮することができます。また溶着効率も被覆アーク棒の55%にくらべ、DW-Hワイヤは約90%と高く、ムダがありません。

2.スパッタが少なく、スラグ除去が簡単

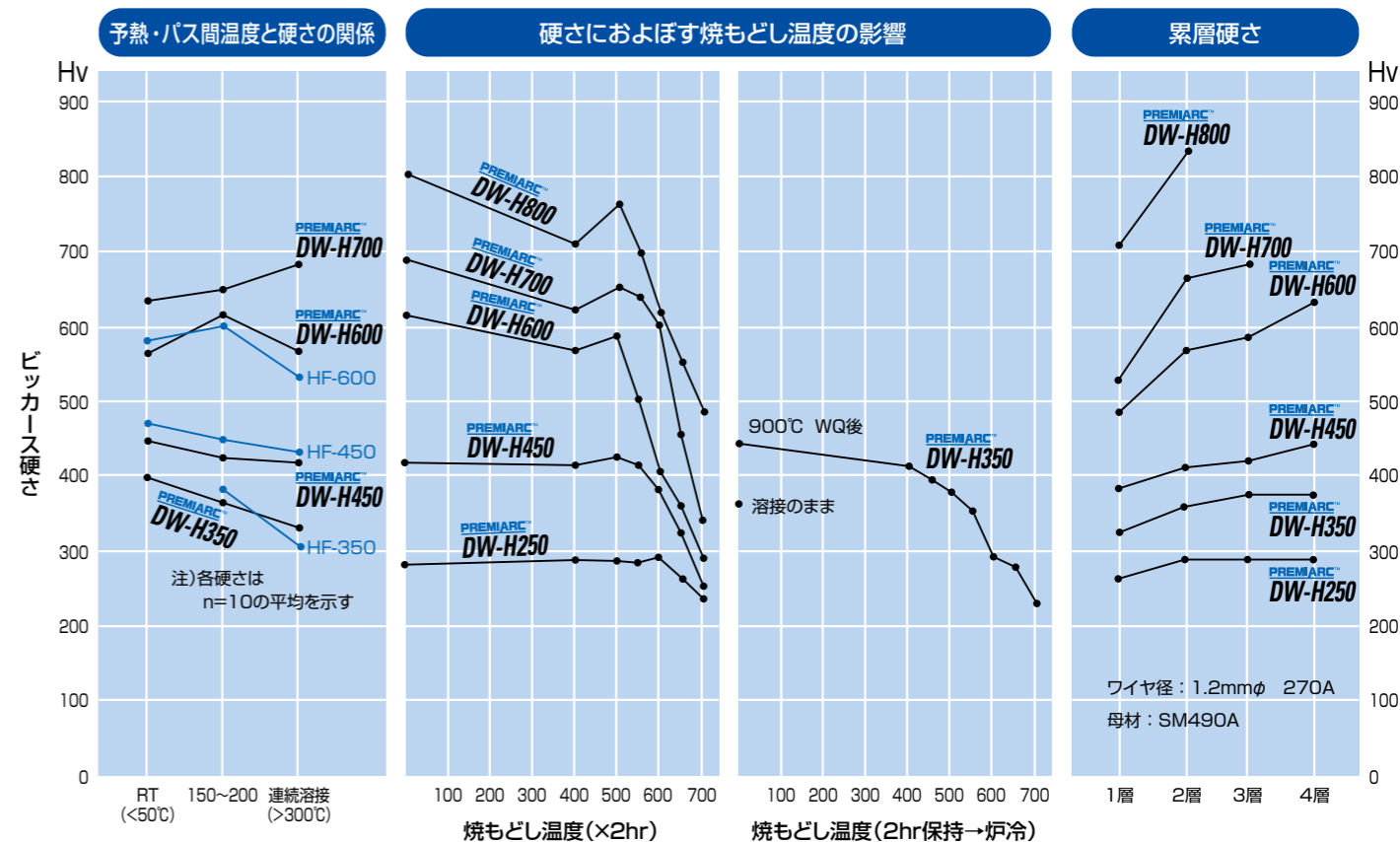
DW-Hワイヤはアークの安定性に優れ、スパッタ発生量も極めて少なく良好な作業性を示します。DW-H250、DW-H350、DW-H450、DW-H600およびDW-H700は、チタニア系のフラックスを含有し、スラグは自然はく離に近く、溶接後のスラグ除去が容易です。

DW-H800はメタル系のフラックスを含有し、スラグの発生量はごく少量です。



肉盛表面の硬さ

DW-Hワイヤは少ない層数でも所定の硬さが得られます。また焼もどし軟化抵抗があり、熱処理による硬度低下が小さいです。連続溶接をおこなっても硬度低下は被覆アーク棒にくらべ小さいです。



DW-Hワイヤの種類と使用特性

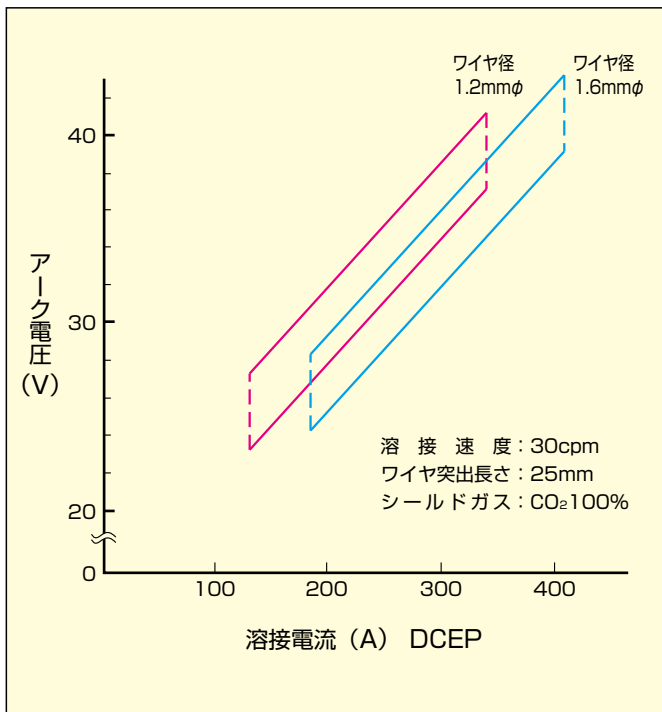
DW-Hワイヤ(低合金シリーズ)は、硬さに応じて6種類を揃えております。

| 銘柄 | 使用特性 |
|-----------------------------|--|
| PREMIARC™ DW-H250 | 溶着金属組織はパーライト系を示します。 硬さはHv=280程度と比較的低く、土砂摩耗には適さず、下盛用または形状復元用、金属間摩耗用に使用します。 機械加工はハイス系で可能です。 |
| PREMIARC™ DW-H350 | 溶着金属組織はパーライト系を示します。 金属間摩耗または軽度の土砂摩耗など幅広く使用できます。 機械加工はハイス系で可能です。また焼入硬化性があり、高周波焼入れや火炎焼入れにより硬化させ耐摩耗性を向上させることが可能です。 |
| PREMIARC™ DW-H450 | 溶着金属組織はマルテンサイト系を示し、土砂摩耗等に適しています。 合金成分としてCrの他にMoおよびVを含有し、焼もどし軟化抵抗が比較的大きく、安定した硬さが得られます。 機械加工はハイス系では困難であり、超硬工具類等を使用することが必要です。 |
| PREMIARC™ DW-H600 | 溶着金属組織はマルテンサイト系を示し、土砂摩耗用として幅広く使用できます。 機械加工は超硬工具等で可能です。 |
| PREMIARC™ DW-H700 | 溶着金属組織はマルテンサイト系を示し、土砂摩耗用として幅広く使用できます。 合金成分としてCrの他にMo、VおよびWを含有し、熱処理によっても硬さの低下が少なく、安定しています。 また耐割れ性は比較的良好です。機械加工は超硬工具等で可能です。 |
| PREMIARC™ DW-H800 | 溶着金属組織は炭化物、硼化物の析出した高硬度のマルテンサイト組織になります。 激しい土砂摩耗に適しますが、脆く割れやすいため衝撃力の作用する部分には向いていません。 |

溶着金属の化学成分および硬さの一例（溶接のまま） 使用ガス：CO₂
 Chemical Composition, Hardness of All Weld Metal(Example)

| 銘柄 | 肉盛層数 | C | Si | Mn | Cr | Mo | V | W | B | 平均硬さ(Hv30kg) |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------------|
| PREMARC™ DW-H250 | 3 | 0.09 | 0.49 | 1.30 | 1.02 | 0.40 | — | — | — | 269 |
| PREMARC™ DW-H350 | 3 | 0.13 | 0.64 | 1.70 | 1.48 | 0.53 | — | — | — | 370 |
| PREMARC™ DW-H450 | 3 | 0.15 | 0.57 | 1.40 | 3.70 | 0.47 | 0.25 | — | — | 431 |
| PREMARC™ DW-H600 | 3 | 0.45 | 0.48 | 0.97 | 4.31 | 0.51 | — | — | — | 574 |
| PREMARC™ DW-H700 | 3 | 0.57 | 0.73 | 1.05 | 5.40 | 1.01 | 0.54 | 1.21 | — | 673 |
| PREMARC™ DW-H800 | 1 | 0.84 | 0.65 | 1.78 | 2.95 | — | — | 1.36 | 0.41 | 707 |
| | 2 | 1.01 | 0.76 | 2.00 | 3.87 | — | — | 1.88 | 0.54 | 817 |

溶接条件 / Welding Parameter



製造寸法 / Size

| | |
|-----------|---------|
| ワイヤ径(mmφ) | 1.2、1.6 |
| 包装単位(kg) | 20 |



警告

溶接の際発生するヒュームとガスによって、健康を損なうおそれがあります。排気、換気の実施、呼吸用保護具の着用など適切な予防措置をとってください。アーク光は目や皮膚に有害です。適切なしゃ光保護具を使用してください。感電によって死に至ることがあります。通電部に触れないでください。ワイヤの始末端部などトーチ先端以外のワイヤが、溶接中に母材、ワイヤフィードなど非絶縁部に接触するとスパークが発生し、火災、熱傷の原因になるので注意してください。

お客様へのご注意とお願い

- ①本カタログに記載された溶接材料、溶着金属、溶接金属などの諸特性データは、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。
- ②実際の溶接構造物における諸性能については、施工物の設計、鋼板の化学成分、施工方法、溶接条件、施工者の技量などの影響がありますのでご注意ください。
- ③本カタログ記載の技術情報を誤って使用したことにより生じた損害につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

株式会社神戸製鋼所

溶接事業部門

マーケティングセンター

マーケティング企画室 TEL 03-5739-6321 FAX 03-5739-6958

国内営業部

造船・エネルギー営業室 TEL 03-5739-6322 FAX 03-5739-6958

東日本営業室

(溶接材料) TEL 03-5739-6323 FAX 03-5739-6958

(溶接システム) TEL 03-5739-6325 FAX 03-5739-6958

北海道営業所 TEL 011-261-9334 FAX 011-251-2533

東北営業所 TEL 022-261-8812 FAX 022-261-0762

中日本営業室 TEL 052-584-6075 FAX 052-584-6109

コベルコ溶接テクノ株式会社

CS推進部CSグループ TEL 0466-20-3000 FAX 0466-20-3010

西日本営業室

(溶接材料) TEL 06-6206-6390 FAX 06-6206-6458

(溶接システム) TEL 06-6206-6423 FAX 06-6206-6458

中国営業所 TEL 082-258-5305 FAX 082-258-5309

四国営業所 TEL 087-823-7444 FAX 087-823-7333

九州営業所 TEL 092-451-6012 FAX 092-473-8238

グローバル推進部 TEL 03-5739-6331~6332 FAX 03-5739-6960

※本製品(役務を含む)は、外国為替及び外国貿易法に定める輸出規制の対象です。輸出には、日本国政府の輸出許可が必要な場合があります。輸出のご予定がある場合には、弊社営業所へお問い合わせ下さい。その際には輸出先や用途をご確認させていただくことがありますので、ご了承下さい。

The products and services represented in this catalog are governed by the export restrictions of the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Act. A Japanese government issued export permit may be necessary to export outside Japan. If export is intended, kindly consult Kobe Steel, Ltd. Welding Business and/or its sales offices. Please be advised in advance that we reserve the right to confirm the export destination including the nature and/or intended use of our products and services at the said destination.